

## 平成27年度瑞陵会総会・交流会



平成27年度総会・交流会は2015年8月23日(日)12時00分から約160名の参加者のもと、メルパルクNAGOYAにて開催されました。今回の準備・運営の担当は昭和48年卒の25回生でした。

総会は2階の平安の間で行われ、司会は一ノ瀬喜之副会長(18回)の開会の辞に続き中村利雄会長(17回)が挨拶されました。冒頭、「在校生には誇りを卒業生には絆を」という言葉で同窓会という組織を運営していきたいとお話がありました。感喜堂の工事完成の報告と9月14日に開催される感喜堂改修完成式典の案内、また110周年記念事業についての概要報告が行われました。尚、感喜堂については卒業生にも使用が許可されるようお願いしているところであり、前向きに検討されているとの報告も行われました。最後に後輩の支援、同窓生の絆を深めるためにも財政基盤の充実・安定を図りたいこと。本日お集まりの皆様にご協力のお願いが述べられました。

第2部の交流会は2階瑞雲西の間。開会の言葉は一ノ瀬喜之副会長(18回)。新井忠校長より、現在の瑞陵の紹介、また現役生達の各方面に亘る活躍の報告が挨拶の中で披露されました。さらに、今回は来賓として毎年総会・交流会のパンフレットの作成をお願いしているデザイナー立松直樹氏(22回)からの挨拶、そして本日記念講演をいただきました三宅養三氏(12回)の乾杯の発声により交流会が始まりました。会場のあちこちでは世代を超えての交流・情報交換、また、本日の講演の感想についての話題で持ち切りでした。続いて、今回は大正期に建てられ、名古屋では一番古い講堂である「感喜堂」の耐震、改装工事の映像を参加者全員で視聴しました。昔と変わらぬその姿に感嘆の声が上がりました。さらに、恒例のお楽しみ抽選会の後、ステージには溢れんばかりの人が集まり、参加者全員での校歌の大合唱となりました。その後、青木偉晃副会長(17回)の閉会挨拶でお開きになりました。

役員の皆様、今年度の準備・運営にかかわった皆様、ありがとうございました。



記念講演についてはp.3に掲載

## 平成28年度瑞陵会 総会・記念講演・交流会のお知らせ

**日時** 平成28年 8月28日(日) 12:00~

**場所** メルパルク名古屋

名古屋市東区葵3-16-16 (JR千種駅徒歩5分、地下鉄千種駅1番出口すぐ前)  
電話 052-937-3665

**会費** 5,000円 当日会場でお支払いください(65回生(平成25年3月卒)以降の卒業生無料)

**日程** 12:00 瑞陵会総会(1階 輝の間)

記念講演(1階 輝の間)

講師 ペリー荻野さん(瑞33回)

演題 「時代劇は時代を映す」 終了後移動(受付も移動)

13:30 交流会(2階 瑞雲東の間 ビュッフェ式)



会長挨拶

瑞陵会会長 中 村 利 雄  
(瑞17回)  
元 愛・地球博(愛知万博)事務総長  
現 公益財団全国中小企業取引振興会会長

昨年11月末をもって日本商工会議所専務理事を退任しました。その後これまでの御縁、絆のお蔭でいくつかの団体や企業の役員を勤めさせて頂いていますが、うれしいことにこれを契機に新たな御縁や絆が生まれ拡大していることです。

そうした中に昨年度再開された日本イベント産業振興協会(JACE)のイベントアワード(日本イベント大賞)の選考委員長があります。これは、愛・地球博事務総長を務めた御縁で就任しているものですが、最近改めて観光のみならず数々の視点からイベントの持つ力が再認識されています。イベントは共通の認識の醸成や多くの人々の心をつなげる働きがあります。さらに喜びや感動を通じて人々に心の豊かさを提供する等社会の活性化、円滑化に不可欠なものとして認識されるに至っています。選考の過程で多くの質の高い応募をみてそのことを実感しているところです。

この何年間、杉原千畝イヤーが続いています。私も映画杉原千畝を見ましたが、偉大な先輩の信念とともに優れた情報収集力と洞察力に驚きを隠せません。現在のような変革、混迷の時代だからこそ杉原先輩の存在意義は輝きを増していると痛感しています。この映画を在校生にも是非見て頂きたいと、瑞陵会も協力して鑑賞会を開催いたしました。優れた先輩の存在は我々後輩に誇りと絆を与えてくれていることを改めて実感したところです。

こうした同窓会の活動は、青春を同じ学舎で過ごしたという絆をもとに絆を拡大していくものですが、来年は110周年事業が予定されています。これは一大イベントであり、同窓会活動を活発化、拡大する大いなる契機となるものにしていただいています。

日時は、平成29年10月21日(土)です。改めてご案内しますが、今から手帳に予定をお書き込みいただき、多くの方々に参加されることを期待しております。

また、皆様の御協力により耐震補強され装いを新たにされた感喜堂は、学校当局の御好意により、同窓会も利用可能です(酒は飲めませんが)、感喜堂での講演交流会の開催等のイベントを秋以降企画したいと思っています。母校を久し振りに訪れる良い機会にもなるのではないのでしょうか。多くの同窓生各位の参加を期待しています。



ご挨拶

校長 新 井 忠

瑞陵会の皆様には、ますますご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。日頃から母校の教育活動に特段のご支援ご協力を賜り、心から感謝しております。

とりわけ、瑞陵会の皆様から、愛知県に対して多大な働きかけをしていただいたことにより、今年の春、歴史的価値・文化的価値のある感喜堂の、耐震補強による改修が、従来の外観を維持したまま、実現したと伺いました。

さらに、今年の夏、瑞陵会の皆様には、110周年事業の一環として、感喜堂に、空調設備と間仕切りを設置していただきました。お陰をもちまして、伝統と歴史的様式が継承された建造物である感喜堂を、これまでの定時制の食堂としてだけではなく、学習室としても使用できるようになり、多くの瑞陵生が、大いに活用しております。重ねて感謝申し上げます。

さて、昨年4月の着任以来、会合にお招きいただくなどして、多くの瑞陵会の皆様にお目にかかる機会をいただいております。その際に感じることで、「同窓であることに誇りを持ち、絆を大切にしている」ということと、「瑞陵生としての生活が、現在の自分のあり方に大きく影響している」ということです。卒業生の皆様一人一人の人生に占める瑞陵の意義について、改めて感じた次第です。

また、母校を訪問された卒業生の方を、校舎や感喜堂などの校内の施設をご案内した際に、「生徒が気持ちのよい挨拶をしてくれた」、「部活動が活発であった」といった在校生に対するお褒めの言葉をいただくことができました。以前、学校のよさを測る物差しは、世間の評判や偏差値とは別に、①学習や部活動などの全てにバランスよく取り組んでいること。②生徒が元気よく挨拶すること。③卒業生がよく訪れてくれること。ということを聞いたことがあります。

こうしたことから、多くの瑞陵生の方々のご努力の上に培われた瑞陵高校の文武両道をはじめとするよき伝統が、今日になお引き継がれていると感じております。よき伝統は、これからも、ぜひ大切にしていきたいと思っております。

これからの若者たちが暮らす社会は、生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会や職業のあり方そのものが、大きく変化する可能性があります。多くの面で大変難しい時代ではありますが、瑞陵会の皆様のお力添えをいただきながら、職員一同一層の努力を重ね、瑞陵生の育成・教育に日本の未来を見つけ、希望を持ちたいと願っております。

本校は、来年、創立110周年を迎えます。周年事業は、過去を振り返り未来へ夢を託す事業であります。母校の歴史を現役の生徒と共有し、一体感を深め、未来を志向したいと思っております。同窓生をはじめ多くの皆様とともに創立110周年をお祝いできることを祈念しておりますので、引き続き、変わらぬご指導・ご支援をよろしくお願い申し上げます。瑞陵会の皆様には、ますますご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。日頃から母校の教育活動に特段のご支援ご協力を賜り、心から感謝しております。

<p><b>司法書士グリーンフォーラム</b></p> <p>司法書士 林 勝 博 (瑞19回)</p> <p>〒458-0036 名古屋市緑区六田一丁目200番地 TEL.052-624-1885 FAX.052-621-1384</p>	<p>機械要素部品の総合商社 <b>株式会社 光商会</b></p> <p>取締役社長 吉 田 明 弘 (瑞13回)</p> <p>〒456-0052 名古屋市熱田区二番一丁目14-8 TEL.052-682-6211 FAX.052-682-6299 <a href="http://www.hkr-s.co.jp">http://www.hkr-s.co.jp</a></p>	<p><b>佐久間医院</b></p> <p>院 長 佐久間 修 三 (瑞19回)</p> <p>〒464-0811 名古屋市千種区朝岡町2-1 TEL/FAX.052-781-0430</p>
--	--	---

平成27年度瑞陵会 記念講演 講演要旨

演題 「闇があるから光がある」

講師 三宅 養三 (瑞12回)

名古屋大学名誉教授、愛知医科大学理事長

〈主な経歴〉

- 昭和42年3月 名古屋大学医学部 卒業
- 昭和43年4月 名古屋大学医学部眼科入局
- 昭和51年2月 ハーバード大学留学
- 平成9年8月 名古屋大学医学部眼科 教授
- 平成10年1月 国際視覚電気生理学会 理事長
- 平成17年4月 名古屋大学 名誉教授
- 平成17年5月 東京医療センター・国立感覚器センター所長
- 平成19年4月 愛知淑徳大学 クリニック院長
- 平成22年1月 愛知医科大学 理事長



眼科医、網膜機能研究の世界的権威で、「三宅病」の発見など多くの業績と多くの国際賞を受賞されている瑞陵高校OBの三宅養三先生が登壇、拍手のうちに記念講演が始まりました。「闇は本当の闇であり光を生まれつきの失明者は求めない、突然闇となったものが光を求めるのである。」と演題の説明をされ拍手のうちに記念講演が始まりました。

1. 眼科医の重要性

実際の手術のビデオを見せながら、白内障の手術は費用対効果が絶大で15~20分で終わりその日の内に帰れますよ、痛くはないんですよ、とユーモアを交え話され場内笑いの渦。

2. 私の家系

瑞陵高校生時代のなつかしい話。

なぜ眼科医をめざしたのか。兄弟3人子供5人がすべて眼科医ばかりの家系。又姻戚の杉田家（名古屋の著名な眼科医）との集合写真では皆が眼科医でほとんどの人が瑞陵出身。

杉田虔（けん）一郎（いちろう）氏は脳医学者で脳動脈瘤治療のための「Sugitaクリップ」を發明し日本の7割、世界で10万個も用具として使用されている。彼も瑞陵出身。

3. 日本の医学研究を支える二大組織の話。

AMED（日本医療研究開発機構）とPMDA（医薬品医療機器総合機構）。

4. 私の履歴

名古屋大学を退官（H17.3.31、誕生日の日）するまで10数万人の患者を診たが最後の患者がなんと（ノーベル物理学賞を受賞された）赤崎勇先生であった。

5. 私と眼科医

先端医療の話。網膜には、人工網膜と網膜再生医療がありその説明をビデオで説明され場内より感嘆・驚き・笑いが起こりました。

オカルト黄斑ジストロフィは網膜中心部の機能が低下し、次第に視力が低下する遺伝性網膜疾患で1967年に研究を開始し34年間かかり責任遺伝子変異を発見。「三宅病」と命名され厚労省の難病指定を受けました。

6. 神戸アイセンター構想

（理研の網膜再生部門の）iPS細胞を活用した世界初の臨床研究である網膜治療ほか再生医療アイ（網膜）センターを現在神戸で構想中であります。

7. 最後に

美智子皇后の相談役であった神谷恵美子精神科医の言葉「元々、人間が生きがいを感ずる時は、自分のやりたいことと義務とが一致した時だ。」で締めくくられ、場内盛大な拍手で幕を閉じました。

（编者追記、専門的なお話が随所にあり言葉の誤謬勘違いはご容赦願います。）

<p>知的財産権に関する業務 エール国際特許事務所</p> <p>弁 理 士 間 瀬 銈 一 郎 (瑞11回)</p> <p>〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-22-7 丸の内OSビル4F TEL.052-959-4520 FAX.052-959-4522</p>	<p>名古屋フランスcorp株式会社</p> <p>代表取締役 会 長 服 部 幸 三 (瑞14回)</p> <p>〒470-0112 愛知県日進市藤枝町西外面16 TEL.0561-73-4601 FAX.0561-75-4545 http://www.nagoyafrance.co.jp</p>	<p>アワタ 栗田敬八税理士事務所</p> <p>所 長 栗 田 敬 八 (瑞19回)</p> <p>〒454-0911 名古屋市中川区野田1-193 TEL.052-351-0251 FAX.052-352-8268</p>
--	--	---

**特集**

**感喜堂耐震改修と学習室**

**感喜堂改修完成式典について**

平成27年9月14日(月)感喜堂改修完成式典が行われた。翌日から瑞光館が天井の改修工事に入るため、記念祭の片付けと授業の合間を縫っての強行日程であった。

式典終了後見学会が行われ、新装なった感喜堂とエアコン・スライディングウォール、江戸川乱歩と杉原千畝のパネルなどが披露された。栗田真砂さん(20回)秋田真希子さん・木村恵子さん(21回)ら有志により抹茶が振る舞われ、参加者は第二代芝村校長が集めた茶碗(80周年記念誌250頁参照)を鑑賞しながら、それぞれの旧講堂・旧図書館の思い出を語る時間を持つことができた。

式典の内容は以下の通り。

- 1 日 時 平成27年9月14日(月)  
午前10時30分から12時まで
- 2 場 所 本校体育館(瑞光館)
- 3 内 容 主催者挨拶 学校:新井忠校長、  
瑞陵会:中村利雄会長  
来賓祝辞 愛知県教育委員会高等学校教育  
課長 荻原哲哉様  
生徒謝辞 生徒会長 河崎希さん
- 4 記念講演 瀬口哲夫 名古屋市立大学名誉教授  
「感喜堂の建築的価値」

5 参考

①講演要約:イギリス人建築家コンドルらに教えを受けた辰野金吾・片山東熊らを第一世代とすると、彼等に学んだ第二世代が各地の官庁で設計を行ったものが、明治末から大正期にかけての建築物である。大正13年竣工の感喜堂は明治中期(煉瓦、木造建築)から昭和前期(機能的な鉄筋コンクリート造り)に至る過程の建築様式であり、一言で言うと「モダンルネッサンスを加味した鉄筋コンクリート造りにその特徴・価値がある。具体的に言えば、高い天井と大きな高窓で明るい講堂になっていること、高い天井を支える細い壁を柱に見立てての石柱風の飾りや頭柱飾りが施されていること、これらの装飾によって格式とモダンさの調和した講堂になっていることなどが挙げられる。「歴史的な建物」は「学校の顔」であり、それによって学校の歴史・記憶を語る事ができる。感喜堂を大切に使って欲しい。

②来賓・参加者

- 来 賓:神谷進 愛商同窓会長  
池田正司 瑞穂ヶ丘中学校長  
吉沢雅之 前校長  
伊藤辰夫 県議会議員・36回  
同窓会:濱田堯・青木偉晃・一ノ瀬喜之・浜島昭二・  
佐合広利 副会長  
参加者・協力者約30名



③付記

スライディングウォールの設置に関しては宮崎雅博さん(20回)、エアコン設置に関しては松本テクニコ小島安伸さんにお世話になった。改めて謝意を表します。

**感喜堂の改修とエアコン設置に感謝**

定時制生徒会長 3年 結城菜々子

私たちが通う定時制では毎日美味しい給食が食べられます。この給食は、朝から登校するまで働いている私たちにとって、すごく有り難いものです。もし感喜堂がなくなっていたら、定時制の給食はお弁当になっていたと思います。お弁当の配給になっていたら、今のような温かい給食は食べられませんでした。温かいご飯が食べたいというのは贅沢な事かもしれないけれど、切実な願いです。だから、定時制の生徒にとって感喜堂はなくてはならない大切なものです。

感喜堂が建て直された日、私たちは感動しました。なぜかというエアコンが入っていたからです。これまでは全校生徒が一度に給食をとる感喜堂は暑くて仕方ありませんでした。今、私たちは涼しくてきれいな感喜堂で夕食を食べることが出来ます。感喜堂に行けば、みんなが笑顔で給食を食べる姿が見られます。感喜堂はただご飯を食べるだけのところではなく、違う学年の生徒や先生との交流の場としても使われています。同窓会の皆さん、感喜堂を残し、快適な空間にさせていただき有り難うございました。

**滝山獣医科病院**

獣医学博士 滝山 昭  
(瑞16回)

〒458-0835 名古屋市緑区鳴海町上汐田220  
TEL.052-621-0179 FAX.052-621-2020

**近藤産興株式会社**

代表取締役 近藤 昌三  
(瑞10回)

〒457-8535 名古屋市南区浜田町1-10  
TEL.052-614-2511(代) FAX.052-611-5826

NC工作機械・工具の総合商社  
**株式会社 新栄商会**

代表取締役 時津 達也  
社長  
(瑞44回)

〒468-0056 名古屋市天白区島田2-516  
TEL.052-801-1222(代) FAX.052-803-1321  
<http://www.e-net-shinei.co.jp>

## 感喜堂の学習室

普通科3年 吉岡 瑞生

感喜堂は素晴らしい建物です。伝統の重みを身をもって感じられるのはもちろんのこと、空調設備や自習室など耐震工事で降整えられた環境は大変快適で、集中して勉強が出来るようになりました。私を含め多くの3年生が授業後毎日のように足を運んでおり、考査期間中ともなると1・2年生もやっ来て満席になります。演劇部の発表の場としても使われましたし、定時制の方々が食事をしている姿もよく目にします。瑞陵にとって大事な建物であることを感じるとともに、改めて卒業生の方々と瑞陵との強いつながりを感じます。感謝しつつ、この歴史ある感喜堂を大切にに使わせてもらおうと思います。



感喜堂北側の学習室、北側（写真右側）の壁には江戸川乱歩と杉原千畝の業績などが展示されている。

## 杉原千畝氏の功績の顕彰

杉原千畝氏が多感な青春時代を過ごした名古屋市に功績を顕彰するものを、という声は今までも度々あがっていたが、今回は具体化される運びとなっている。

愛知県のホームページには、「平成28年度 愛知県と名古屋市の主な連携・共同事業について」として次のように掲載されている。

愛知県名古屋市で青少年期を過ごした杉原千畝氏の功績と当地域とのゆかりを広く県民・市民に伝え、県民・市民の郷土に対する誇りの醸成や地域の活性化につなげるため、県・市が連携・共同して情報収集、連絡調整を行いながら、顕彰のための事業を実施する。

【平成28年度に県・市が実施する杉原千畝氏の功績を顕彰する事業】

県：「杉原千畝顕彰施設（仮称）」の整備検討調査…同氏の功績を顕彰するにふさわしい施設について、施設構成や展示内容などの検討調査を実施する。

市：①人道の道の設定と銘板等の設置…同氏の居住地や通学していた名古屋市立平和小学校、愛知県立瑞陵高等学校などを結び、「杉原千畝・人道の道（仮称）」として設定し、功績を講える銘板等を設置する。②ウォーキングイベント…「杉原千畝・人道の道（仮称）」を辿るスタンプラリー等を実施する。③小学校間交流事業…同氏の生誕の地である岐阜県加茂郡八百津町の

の八百津小学校と平和小学校との間で交流事業を実施する。

[http://www.pref.aichi.jp/uploaded/life/127669\\_101893\\_misc.pdf](http://www.pref.aichi.jp/uploaded/life/127669_101893_misc.pdf)



名古屋市立平和小学校の「ちうねチャイム」千畝生誕100年の2000年11月18日設置。

## 杉原伸生氏瑞陵高校来校

杉原千畝氏の四男の伸生氏が、2016年7月12日に瑞陵高校に来校された。伸生氏はベルギー在住で、今回は、エシン夫人と四女の晴香さんを伴って家族旅行として来日し、父千畝氏の足跡を巡った。名古屋市内では、小学校から中学校まで住んでいた場所と通っていた名古屋市立平和小学校をまわって、最後に瑞陵高校を訪れた。

予定より1時間以上早く到着した一行は、まず、第五中学校の跡地である名古屋市立瑞穂ヶ丘中学校の外周の塀や正門付近を見学し、瑞陵高校内では植樹されたオリーブの木を見て、千畝氏の墓所のある鎌倉に向かわれた。

瑞陵高校は生徒会行事の球技大会の真っ最中であり、杉原氏も非公式な私的な訪問で、さらに過密なスケジュールであったことから、全国高校総体結団式に出張中の校長先生と会えず、生徒との交流の時間も取れなかったのは残念であった。



左から4人目が杉原伸生さん、左側がエシン夫人、右側が晴香さん  
瑞陵高校応接室にて

### ※瑞光館天井改修建築工事

工事概要：吊り天井の撤去、照明をLEDに変更

設計：三共コンサルタント

施工：(株)オクト

工事期間：平成27年9月15日から平成28年3月2日

なお、この工事のため、平成27年度の卒業式は金山橋の市民会館で行われた。

## 五中・瑞陵史発掘

## 瑞陵と「人道の道」、五中街道

三品耕作 (瑞47回)

## 1 はじめに

昨年に、全国で封切りされた映画『杉原千畝 スギハラチウネ』の影響は計り知れない。現在、愛知県と名古屋市が連携・共同事業の一つとして杉原千畝氏の功績の顕彰事業を推進している。名古屋市は、同氏の居住地や通学していた市立平和小学校、瑞陵高校などを結び、「杉原千畝・人道の道(仮称)」として設定し、功績を讃える銘板等を設置する計画である。

「人道の道」のルートは今秋に発表される予定であるが、市の担当者(総務局総合調整部総合調整課)から瑞陵会へ既に説明を頂いており、判明している(但し、今後、ルートの一部が修正される可能性がある)。

## 2 「人道の道」

「人道の道」の始点は市立平和小学校に隣接する葉場公園(中区)であり、終点は瑞陵高校である。「人道の道」のルートは、①葉場公園から同公園の西に位置する大津通を高蔵交差点まで南下し、②高蔵交差点で東へ向きを変え、熱田区六野2丁目の人道橋を渡って新堀川を越え、雁道交差点を経由し市立瑞穂ヶ丘中学校まで東進し、③瑞穂ヶ丘中学校正門前の郡道をパロー瑞穂店の北東角の交差点まで南下し、その交差点より東へ瑞陵高校正門までの設定である。

「人道の道」の計画当初は、杉原氏の中区の住所(当時)から、五中校地(瑞穂区高田町、現在の市立瑞穂ヶ丘中学校校地と私立高蔵高校・中学校校地を併せた敷地)までの通学路を予定していた(名古屋市議会総務局長答弁、平成27年(2015)11月27日)。しかし、同氏の通学路の文献資料が見つからず、また、当時の道があぜ道であり残存していないため、特定不能と当局は判断したそうである。したがって、「人道の道」は、杉原氏の通学路をモチーフに、上記のように同氏とゆかりのある場所を繋いだルートとなった(問題は、上記の③のルートである。歩道がなく自動車の往来が多くて安全性に疑念がある郡道を長く利用するルート(当局の案)ではなく、瑞穂ヶ丘中学校のすぐ南側の道を東に向かい、瑞陵高校の感喜堂(名古屋市最古の講堂)と大正時代に建てられた旧正門の南脇を通るルートを私は当局に提案している)。

## 3 五中街道

「人道の道」の中で上記②のうち下線部が、五中街道である。五中街道とは、『(尾張國)愛知郡誌』によれば「大正6年(1917)2月郡会において、呼続町地内第五中学校に通ずる群費支弁の道路となし」とあり、五中の通学路として開いた愛知郡道の通称であり、高田街道が正式名称である。

五中街道は、当時の東京砲兵工廠砲具製作所熱田分工場(いわゆる熱田兵器製造所)より、五中に至る総延長およそ1.7km、道幅およそ5.5mであった。五中街道は、熱田停車場(現在のJR熱田駅)を利用する五中の生徒の通学路でもあった。

五中街道を熱田兵器製作所から東方へ歩いて行き、御器

所台地を見上げると、坂の上には白亜の近代建築である五中校舎と第八高等学校校舎が眼に映ったことであろう。坂の上の雲である。

## 4 明治末期の開発ラッシュ

五中の創立(明治40年(1907))は八高(明治41年(1908))に先立つ。この2校の設置を含め、当時、御器所台地境界は開発ラッシュであった。その嚆矢は熱田兵器製作所の設置計画であった。

明治37年(1904)2月に日露戦争が勃発し武器の大量供給が必要となったため、同年11月に政府は熱田兵器製作所の設置計画を決定した。熱田兵器製作所は愛知の近代工場の先駆けとなった。この計画を受け、明治38年(1905)に名古屋市会が決議したのが精進川改修工事であった。明治44年(1911)、この改修工事が完成すると精進川は新堀川と改称された。新堀川は大運河としての機能も有した。以前、私は五中1期生の江戸川乱歩氏が在学中(明治40年(1907)～明治45年(1912))に中区の実家から五中まで自転車通学していたことを指摘した(瑞陵会報2014「瑞陵と江戸川乱歩」)。精進川改修工事という当時の名古屋市の大プロジェクトを乱歩氏は通学時に自転車に乗りながら垣間見ていたことになる。

この改修工事によって産出された土砂の一部は熱田兵器製作所の建設のために利用された。残余の土砂によって、水が沸き湿地だった「水流間(つるま)」地域が埋め立てられ、名古屋で最初に整備された公園である鶴舞公園が誕生した(明治42年(1909))。翌年、大規模な博覧会「第十回関西府県連合共進会」が鶴舞公園で開催された。

明治42年(1909)、五中の正門に面する郡道千種街道が完成した。千種街道とは、南端は東海道の呼続(南区)、北端は飯田街道の古井坂(千種区)に通じている道であり、現在では単に「郡道」と呼ばれている。

このような一連の開発ラッシュの直後、6期生の杉原氏は新設校である五中に在学(明治45年(1912)～大正6年(1917))した。そして、杉原氏の卒業時期に前後して五中街道は完成したのである。杉原氏が通学路で眼にした景色、また、五中の多くの生徒が五中街道で眼にした景色は、鉄道駅、工場の赤煉瓦、新橋、新運河、洋風の新校舎など近代化の結晶であった。

## 5 おわりに

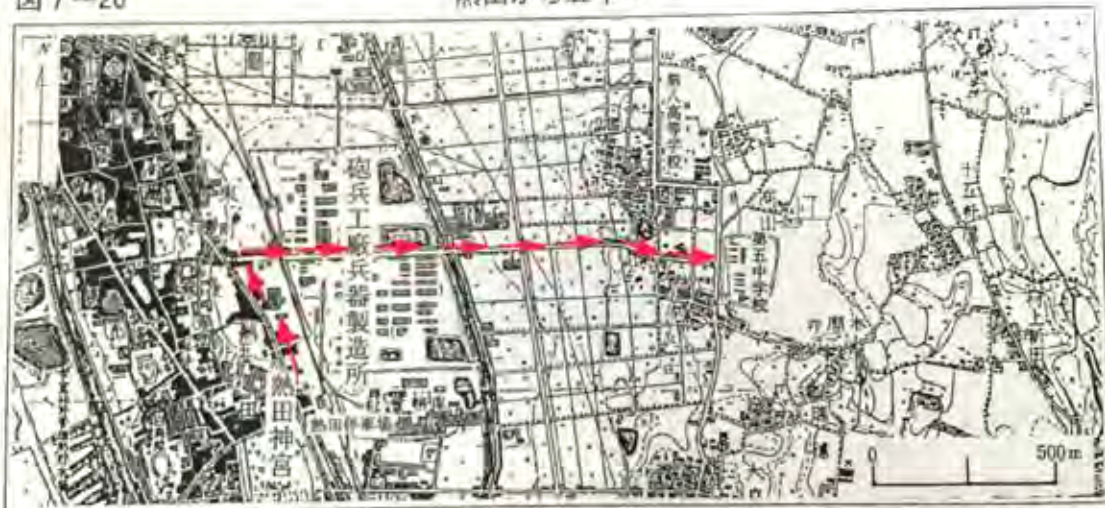
杉原氏が通学路で眼にした近代化の遺物——鉄道駅、赤煉瓦、運河など——は、現在も五中街道境界に残っている。五中の多くの諸先輩が通学路として利用した五中街道が、今回、「人道の道」の一部として指定されスポットライトが当たること、私は感慨を覚える。

## 【参考文献】

- 名古屋市建設局『名古屋都市計画史 上巻』(名古屋市建設局、1957年)  
 名古屋市瑞穂区役所『瑞穂区誌 区制施行50周年記念』(竹田印刷、1994年)  
 名古屋市昭和区役所『昭和区誌』(竹田印刷、1987年)  
 愛知県立愛知商業高等学校『白壁第7号 愛商四十五周年誌』(大同印刷、1964年)  
 名古屋市立高田小学校『開校50周年記念誌 高田』(神山プリント、1977年)

図7-20

熱田から五中へ



陸地測量部「名古屋南部（大正9年測量）」から

## 杉浦桜石碑について

昨年の瑞陵会報に掲載された五中三九会小野茂勝氏の「杉浦桜を守ろう」という呼びかけに応じて、三九会を中心に20名から募金をいただいた。これを基に、瑞陵にご縁のある様々な方にご協力をいただいて石碑が完成した。

好天に恵まれた2016年4月9日(土)、ほころび始めた八重桜のもとで新井校長先生はじめ五中三九会8名の参加を得て除幕式を行うことができた。

碑文内容、協賛者は以下のとおり。なお三九会からは残金2万円を維持管理費として瑞陵会にご寄付頂いた。碑の洗浄、周囲の除草等、学校と協力して管理をしていきたい。

昭和20年(1945)6月26日 米軍機の空襲により母校五中山の防空壕が直撃弾を受け、そこに避難していた五中39回生杉浦堯君(2年生・14歳)が亡くなった。

昭和63年4月 同期生有志15名は杉浦君の鎮魂と平和を祈念し、ここに八重桜を植樹した。

今や戦後70年 この間に桜を植えた同志12名が他界、彼等の慰霊の念も加えこの記念樹の思いを後輩に引き継ぐため、ここにこの碑を建立する。

平成28年(2016)4月 五中三九会有志

募金協力者 天貝力一 有賀道夫 飯田輝彦 伊藤 元  
磯部 烈 岩沙 脩 遠藤正昭 加藤栄一 加藤 周  
国島康文 後藤幸夫 鈴木隆治 田中信司 日比野進  
安井 功 山本達雄 伊藤賢造(五41) 森 重統(高20)  
世話人代表 斎藤 亮 小野茂勝  
石 碑:(株)法林 専務吉川正洋様(御尊父が喜一郎氏3回)  
桜の養生:黒宮造園専務 黒宮剛様  
碑文揮毫:本校書道講師 大矢翠光先生

(事務局 森)



## 〈メロディー〉 ブラスバンド同好会からクラブへ

長谷川 邦雄 (瑞19回)

この頃、一人、ギターの弾き語り、玉置浩二の「メロディー」という曲に心ひかれて歌いたくなるときがあります。安全地帯というバンドを解散して、一人で音楽活動を続けていたとき、昔のバンド仲間のことを思い出して作った曲だそうです。

木造の旧校舎の北側に隣接する尾張高校(現名古屋大谷高校)から授業後のブラスバンド部の練習する音がいつも流れていた。中学の頃、3年間ブラスバンド部に在籍し、練習に明け暮れていた頃を思い出させた。同級生に誘われてホッケー部に入部するが、夏のインターハイの試合が終わった後で退部してしまった。地元の瀬戸市古瀬戸吹奏楽団に籍を置き、祭りの行事などで演奏をしていたが、なぜか、ふと高校でもみんなで音楽を楽しめたらいいなと、堀越しに聞こえてくるブラスバンドの音を聞くたびに思うようになっていった。1年生の夏が過ぎ、文化祭、記念祭の行事に参加し、中学校のそれとは違い、規模や学生の勢いなどにとっても感動したものだ。ただ中学校の行事では、運動会の入場行進、開閉会のファンファーレや文化祭の演奏などブラスの音が構成の一部をなしていた。

瀬戸の中学から一緒に行った友人と通学電車の中で、どうしたら音楽の好きな仲間を集めて高校内での活動の場を作ることができるかといつも話していた。そして、他の友人や先輩の助言もあり生徒会に相談をもちかけることになった。当時の3年生の会長にその趣旨を伝えたところ、生徒会の役員で応援団を構成していて野球の試合などで応援をしていたが、他校では応援団とブラスバンドで応援し、迫力の差を感じていたところだと聞かされた。メンバーさえ集まれば同好会という形で、学校から練習場所として楽器の保管所などを貸していただけるということになり、さっそく掲示板などに募集の張り紙をすると1年生9名、2年生5名(他の部活に在籍している協力者)が参加してくれた。希望者全員が集まってはみたものの、楽器を持っていない学生が半数以上いたと思う。大物のチューバ、バリトンなど中低音域の楽器は皆無。当然打楽器の小太鼓、大太鼓、シンバルなど誰もが個人で持っているはずがないものである。個人で持っていた楽器はトランペット3本、フルート1本、トロンボーン2本、クラリネット1本だったと思う。ブラスバンド同好会の練習場所は一番北側の校

生命保険・損害保険代理業  
株式会社エイチ・ケイ・コーポレーション

代表取締役社長 加藤 秀雄

(瑞25回)

〒352-0006 埼玉県新座市新座1-13-19  
TEL.048-485-1483 FAX.048-479-7701  
Email katochan@df6.so-net.ne.jp

てらかど動物病院

院長 獣医師 寺門 俊博

(瑞45回)

〒465-0087 名古屋市名東区名東本通5-19  
TEL.052-703-1101 FAX.052-703-1189  
http://www.terakado-ah.com

太子歯科医院

院長 小森 敦夫

(瑞33回)

〒458-0823 名古屋市緑区太子2-190  
TEL.052-623-1184 FAX.052-623-0799  
http://www.taishi-dental.com/



舎の西側の教室、学校内では、一番隅っこ。楽器の音はとても大きく、他の学生に迷惑にならない場所だった。保管場所は生徒会の一戸建ての建物の中、地下室というより、床下のようなスペースを借りることにした。秋のいろんな行事も終わり、秋風が少々冷たく感じるころであった。

その後は、楽譜を調達に今もある柳橋のヤマハビルへ。楽曲は現在と違って行進曲が中心だったので、中学時代の曲と古瀬戸吹奏楽団での比較的、初心者向けを選曲し、リズム楽器がないため全員に特別にカンパをお願いして小太鼓を購入した。入会時に楽器を持っていなかった人は、個人負担で比較的買いやすいクラリネット、フルートなど希望のものを購入してもらった。今思うと全くのゼロからのスタートであった。1年生はそんな感じで同好会の形作りに奔走し、練習は「ブカブカ・パカパカ」で半年が過ぎていき、校内での演奏の機会は1度もなかった。

2年生になると新入生の募集で9名の会員が集まってくれた。後で聞いた話では、後に初代の部長になる生徒のクラスが中心になって、声を掛け合って参加してくれたということだった。私の学年と同じく中学での経験者は少なく、ほとんどの人が楽器を個人で持っていなかった。それぞれが入会してからトランペット、フルートなど個人で購入できる楽器を手にしてからのスタートだった。基本的なリズム音域、中低音域の楽器のための予算は同好会にはなく、演奏の時にはそれぞれの出身中学校にお願いして貸してもらった状態がその後2、3年は続いたと思う。2年生の時には、夏の県大会に出場する野球部のための刈谷球場での応援演奏を生徒会から依頼されたり、予餞会や文化祭など少しずつ演奏する機会が増えてきた。1年生だった1964年、東京オリンピックが開催された。現在改修中の国立競技場開会式に鳴り響くファンファーレの音。1年後には瑞光館でも同じファンファーレが鳴り響いたのである。実質的なバンドデビューでもあった。

3年生の時には、新入生9名の参加を得て総勢28名の会員数となり、何とか人数的にはブラスバンド同好会として形をなすようになった。そして最後となる文化祭には、オーケストラ構成と合唱でシベリウス作曲、交響詩「フィンランディア」、スメタナ作曲、交響詩「我が祖国」の第2曲「モルダウ」の2曲を演奏することになる。音楽部の部員それに卒業生が中心となり、あっという間に企画が進行していく。音楽でいうノリそのものの状態だった。本物のオーケストラの構成にはほど遠く、あり合わせの楽器構成だった。ブラス系はブラスバンド同好会が中心に、コントラバスなど大物の弦楽器は卒業生が在籍していた名古屋大学のオーケストラから借り、指導を受けた。合唱は音楽部中心

に全校に声をかけて70名もの有志に集ってもらい、この合唱のメンバーを加えると約120名の大所帯となっていた。この演奏の時にもまだ瀬戸の中学校から大物のブラス楽器を友人と二人で片道2時間かけて運んだ。瑞光館の舞台いっぱいメンバーが揃い、演奏する側と観客とが一体化し感動を共有できたことで演奏中、目頭が熱くなったことを記憶している。それも学校、生徒会、音楽部、合唱の有志、ブラスバンド同好会の会員の協力があったからこそ初めてなし得たことだと思う。



卒業後、同好会が部へと昇格し、新入生もなんと26名が入部したこと、そして現在は部員数50名ほどで、コンクールにも入賞しているということを経験、初代部長から聞いたときには内心「ホッと」した。後輩の人たちが、私たちよりもっと大変な事を経験し、ブラスバンド部<sup>\*</sup>の歴史を現在まで繋いでくれたことに感謝している。

<sup>\*</sup> 1998年までは、名称はブラスバンド部、1999年より吹奏楽部にクラブ名が変更されています。

あとがき

30年間ほど、陶芸の研究が忙しく、音楽からは離れていましたが、「19回同期会にオヤジBAND組んで懐かしのポップスを演奏しませんか…?」という連絡が入り、演奏を再開しております。

〈追記〉

今回の原稿執筆にあたり、瑞陵高校教頭・兵藤先生、瑞陵会事務局・森先生、ブラスバンド部初代部長・錦慎二郎氏にご協力いただきました。記して感謝申し上げます

<p>金型、専用機的设计製作 <b>ムツミ工業株式会社</b></p> <p>代表取締役 <b>近藤 哲典</b> (瑞22回)</p> <p>〒462-0866 名古屋市北区瑞光町5-1 TEL.052-913-2111(代) FAX.052-913-2100 <a href="http://mutsumi-industry.co.jp">http://mutsumi-industry.co.jp</a></p>	<p><b>つばめ自動車株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 <b>天野 清美</b> (瑞17回)</p> <p>〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目21番1号 TEL.052-201-8031(代) FAX.052-201-8036 <a href="http://www.tsubame-taxi.or.jp">http://www.tsubame-taxi.or.jp</a></p>	<p><b>株式会社 アオキスーパー</b></p> <p>取締役 相談役 <b>青木 偉晃</b> (瑞17回)</p> <p>〒453-0054 名古屋市中村区鳥居西通一丁目1番地(本社) TEL.052-414-3600 FAX.052-414-3609 <a href="http://www.aokisuper.co.jp">http://www.aokisuper.co.jp</a></p>
---	---	--

## 脱皮できない蛇は死ぬ (ニーチェ、もしくはスッタニ・バータ)

江口 倫 郎 (瑞19回)

ニーチェの言葉として有名だが、もとは仏教の経典にある「脱皮できない蛇は死ぬ」という言葉が、自分の過去を振り返ると思い浮かぶ。高校、大学を通じての多くの同級生は正常進化を続けて穏やかな人生を送っているようだ。彼らと比べると確かに多くの変節を何度か体験している自分は変わっていて、話題としては面白いかもしれない。入学時には150cmに満たないチビで、クラス(106R、208R、303R)でもクラブ活動(硬式テニス部)でも冴えず引込み思案な自分だったが、高校3年生秋における突然の進路変更をきっかけに、自分を生かす道を模索しながら転身し、アクティブかつ外向的に過ごしてきた人生を、3度の脱皮行為を通して紹介することで、遅れ馳せではあるが存在をアピールしてみたい。また瑞陵出身では数少ないカーデザイナーは、同じ美術分野でもアーティストと異なりアノニマス(無名)な職業であり、その知られていない仕事内容もこの機会に紹介しよう!

### 受験直前、最初の脱皮

高校3年生の秋も終る頃、「太田先生、芸大を受けたいのですが…」と職員室を訪ねた時が最初の脱皮行為である。高校へ入学した当初は飛行機的设计がしくて、工学系への進学を想定していた。希望はプラモデルマニアとして有名だった木村秀政教授のいる日本大学だったが、「うちは、私立はだめだからね」と親から釘を刺されていたため諦めた。しかも航空工学科は限られた国立一期校にしかなく、当時の自分の成績と自己管理能力では口にさえ出せなかった。何せ帰宅後は勉強もせず漫画を描くのとプラモデルを作るのに専念する毎日だった。ただし、そんな趣味をきっかけにカーデザインという世界を知り、同級の川喜田から「リンロー、こんな学校があるぞ」とデザイン科のある美術大学を教えられたのが転機だった。おりしも地元愛知に県立の芸術大学が創設され、カーデザイナーとして本で見知っていた由良玲吉教授が就任しており、一気に気持ちが傾いてしまったのだ。

受験直前期での進路変更には驚いた先生は翻意を促したが固い決意は動かず、美術の国枝先生に相談し「先ず鉛筆デッサンからだね」と言われて美術系受験に急遽備えた。学科1次試験は受かったものの、試験寸前にポスターカラーを購入している状態では、当然ながら実技で落ち、当時の瑞陵の大勢であった浪人生活へと突入した。しかしその生活は天国だった。「そんな絵を描くことは受からんよ」と東京芸大出身の講師に言われ、石膏デッサンには苦労したが、平面構成で色を塗ったり、立体構成で工作したりという、美術の授業を毎日、朝から晩まで受けていればよいという生活は楽しく充実したもので、母からも「薔薇色の浪人生活だね」といわれた。

翌年は県芸一本に絞る、新設校で人気も高かったが、20倍という競争率を勝ち抜き、3期生として無事入学、希望していたカーデザイナーへの扉を押し開けることができた。その後も色々リスクな選択はあったが、乗り換えた道は本当に自分に適合していた。今振り返ると、この時の転身成功体験が、その後の人生における積極的な決心と脱皮行動を支えているのかもしれない。大学での授業も描画と

制作作業が基本で、漫画とプラモデルがテーマを変えただけであり、毎回の課題にワクワクしたものだ。念願の由良教室に進んだ3・4年はライバルと競争しながら、さらに刺激的な時間を過ごした。

大学を卒業して入った新生・三菱自動車工業の意匠課では、「エクステリアデザインしかやりません」との主張が通り、希望した小型車エクステリアスタジオへの配属後、ミニカ、ミニキャブ、ミラージュ等を担当した。課内外の優れた先輩たちに影響を受けながら描画技術を高めるとともに、企画やマネジメントを学んだ時期でもある。オイルショックはあったものの自動車産業は右肩上がりで発展し続け、幅広い車種の外形デザインを体験し、自分のデザインが採用された車たちが街中へ送り出されていった。苦手だった英語を学びなおし、25歳の時に給与10か月分を投資し米国Oshkoshの航空ショーを見学、翌年には会社のローンを借りて現在の土地を購入した。33歳の時には米国Art Center College of Designへ社命留学もできた。この時は英語担当でもあった太田先生に心から喜んでいただけ、恩が返せたと思う。何せ高3の英語はずっと1だったから。

この留学経験はさらに活躍の場を外に広げてくれた。社内では海外スタジオとの競合プロジェクトにも登用され、新型スポーツカー、SUV、そしてモーターショーに出品するコンセプトカーにも毎回かかわることができた。海外向けのデザインを通常業務外で依頼されることも多く、それを機縁に1987年に始まったソーラーカーレースWorld Solar Challengeへは、「NTVレイトンハウス号」のデザイナーとして参画することができた。80年代は会社の最盛期ともシンクロし、人生で最も充実した時期であった。獲得した英語能力で、米国企業との会議出席やVIP対応等、豊かな国際体験も増加した。また上司の命によりJIDA(日本インダストリアルデザイナー協会)の会員となり、1989年の世界デザイン会議名古屋では実行委員としてソーラーカーデザインGPを提起・担当し、その後の日本のソーラーカー普及の橋掛けとなったことも思い出深い。この頃、仕事ではシャリオ、RVR、ミラージュ、ランサー等10余車種を主任として担当しており、人生で最も睡眠の少ない時期である。

以上のように高校における脱皮後20年は、リスクな判断をしてきたものの、基本的な方向は変わらず、デザイナーとしての能力向上と実績増強という一筋に山を登り続けてきた時期といえる。

### 管理職寸前で2度目の脱皮

それは40歳のときだった。のめりこんでしまったソーラーカーレースの意義を信じ込んだ僕は2回目のWSCに個人でエントリーしてしまい、その準備と参加のために会社を退職する決心をした。仕事も順調でプロジェクトも多く、「4月には課長だぞ」と、上司からは引き留められたが高校の時と同じく翻意は考えられなかった。1990年2月デザイン課全員の送別会で見送ってもらったことは忘れられない。もともと大企業の管理職は嫌で、由良教授のような自身のデザイン事務所を持つことが希望だったので、「大変心」ではなかったが、WSCが迫っていたため何の準備もなく退職したつげは大きく、レース資金のための借金がその後数年間のしかかってきた。この時は本当に苦しかったが、日本各地でソーラーカーレースが開催される時期と重なり、新作の「ソーラージャパン号」でオーストラリアを皮切りに国内レースを転戦した。

1993年の第3回WSCの時には何とか借金は完済できて

おり、メンバーのお陰で毎日新聞社の協賛を得られ、「MAINICHI号」の名前で資金の心配なくレースに参加することができた。毎日の誌面では3日間4ページの連載で随行取材してもらい、未来に向けたソーラーエネルギーの可能性をアピールすることができた。その後の太陽光発電の実用化と発展はご存じのとおりである。仕事の面でも幸い退職8か月後にはその後長期にわたって関係の続くクライアントとデザイン嘱託契約ができ、社員も増やして順調に業績は向上していった。



豪のソーラーカーラリー



(写真: MAINICHI号告知記事、主催者のハンスと討論する江口)

多分、最後の脱皮とつまずき

主業務は自動車用品の開発とデザインだったが、21世紀に入ると国際化の中で環境も変わり、クライアントがその事業から撤退することになり、クライアントの社員ともども新しい職を探すこととなった。軟着陸を図りながら従業員は何とか新しい職場へとつなげた。自分自身の新しい道も考慮する必要に迫られたが、すでに構想は温めていた。父親の介護を通じて分かったのは、自分が若いころ思っていたより人生は長いということだ。そして残念ながら自分

が選んだカーデザインという仕事はライフワーク足りえないということに気づかされた。デザインは基本的に組織的創造であり、自己完結できないジャンルである。絵画やクラフト、ジュエリー等のデザインは、技術さえ習得すれば、他人に頼らず一人で企画発想から製品の完成、販売まで達成できるが、カーデザインは一人で完結しえない。企業でデザインを決めるだけでも、モデル・図面・設計検討、最近では3次元CAD担当者も加わり、大人数がサポートしてくれる。

そこで新しい道を模索した中で辿り着いたのが認知科学だった。地元の名古屋大学の岡田教授を訪ね、過去の実績と研究希望を説くと、「面白いですねえ、実験内容を考えてみてください」と即座に受け入れられ、共同研究者からスタートし、新しい知見を習得しながら論文執筆を目指した。最初は自分のデザイン経験を客観的に評価されるレベルの論文にまとめれば良いくらいの目的であったが、だんだん向上欲も出てきた矢先、教授から「今度、東京大学に移ることになりました」と聞かされ、研究を続けるうえで遠くの大学院を受けざるを得なくなってしまった。全く異分野の基礎知識を学び直すという自己改革の必要に迫られ、英語の勉強も再開することになってしまった、とはいえ昔と異なり優れた学習教材もある。数度の挑戦後、受験3か月前にTOEIC800を達成し、これで受かったと確信した。「やったよ！先生」もう報告は叶わないが太田先生の顔が浮かぶ。

59歳で東京大学大学院学際情報学府文化・人間情報コースに入学。博士前期課程は名古屋と東京での二重生活をしながらも無事にこなした。修論のテーマは「カーデザインのアートエスノグラフィ」とし、デザインスケッチをデータとしてデザイナーの創造行為を分析したものだ。しかし後期課程3年まで進んで体を壊してしまった。酒・煙草もせず良き生活習慣を続け、健康診断のデータも悪くなかったのだが、突然、腎炎を原因とするネフローゼ症候群の診断を受けた。現在、難病指定を受けており、原因も不明で医者によると「交通事故みたいなのですね」とのことで、後悔どころか反省のしようもない。

ただ、3度の脱皮行為をよく考えると、最初の2回は自己の意志に合わせて進む道を変更したという形だが、3度目は逆に進みたい道に合わせて自己改革を行ったという違いがある。還暦後でもあり、老化や体質の変化に加え、毎週、高速バスでの東京・名古屋の往復、それに加え、再開した硬式テニスの若いコーチ相手の週2回のレッスンと、調子に乗りすぎたなど今思う。2年間の休学を終えて昨秋復学したが、今も薬物治療と食事療法が欠かせないが、あと少し頑張って博論の完遂を目指すつもりだ。加えて、来年30周年となるWSC記念車のデザインを依頼されているので、この後直ぐにスケッチに入る予定である。今後もご注目ください！

(URL: <http://www.e-guide.ne.jp/>)

<p><b>瑞陵会会長</b></p> <p>中 村 利 雄</p> <p>(瑞17回)</p> <p>公益財団法人全国中小企業取引振興協会会長 〒104-0033 東京都中央区新川2丁目1番9号 石川ビル2・3階</p>	<p>施設管理支援・情報管理支援・文化財事業</p> <p><b>ナカシャクリエイテブ株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 山 口 寛</p> <p>(瑞37回)</p> <p>〒468-8533 名古屋市天白区井の森町205 TEL.052-895-1131 FAX.052-895-1844 <a href="http://www.nakasha.co.jp">http://www.nakasha.co.jp</a></p>	<p><b>原稿募集のご案内</b></p> <p>編集委員会では、「五中・瑞陵史発掘」シリーズの原稿を求めています。事件、出来事、卒業生の活躍、学校行事、生徒会活動、クラブ活動などについて書いていただける方、資料を提供していただける方はふるってご寄稿ください。また、推薦していただける方があれば、その情報も編集委員会にお知らせください。</p> <p>編集責任者：浜島昭二 (瑞19回) shoji.hamajima@gmail.com</p>
---	--	---

## 映画『杉原千畝』

平成27年12月 映画『杉原千畝』が公開されました。それに先立ち、主演の唐沢寿明さん、チェリン監督らが、公開キャンペーンの一環として2015年12月1日に瑞陵高校を訪れました。

また、年度末に行われる生徒会行事で『杉原千畝』を鑑賞することを計画しましたが、上映中の映画とのことで高額な費用が必要になり、同窓会が70万円を補助して実現にこぎ着けました。2016年3月15日（火）に金山橋の市民会館で1・2年生全員と卒業した3年生約60名、定時制希望者等計850名が鑑賞しました。

### 唐沢寿明氏インタビュー

#### 杉原千畝像は

（ビザの発行も）当たり前のことをやっただけ という人で、気持ちを表に出さない人と思っていた。外務省を辞めてもいいという思いでビザを発行したことを思うと、熱い思いを持った人だと改めて思いました。

リトアニアの大使館では、窓と道路とが非常に近い存在でした。撮影では少し距離をおきましたが、そんな近くからユダヤの方々が見えられたら、突き動かされるものがあったと思います。

#### 撮影に関して気をつけたこと

日本人であるということ、第一に心がけました。杉原さんの熱い思いについては、後から知って良かったと思う。熱い思いをあえて（劇的に）表現しないことで、杉原さんの気持ちが伝わったと思います。

リトアニアの人は誰もが杉原千畝のことを知っていますが、日本人ではまだまだです。少しでも知ってもらえたら良いと思っています。

#### （瑞陵）高校生に対して一言

好き勝手に生きていけばいいと思う。思い切り勉強して、思いっきり遊んで、恋もして挫折もして、そういう経験を積んでいってほしいと思う。瑞陵高校の生徒諸君は杉原千畝のことを勉強しているけれど、知らなかった面も映画を見ればわかると思うのでぜひみてほしい。

#### 戦後70年という節目に映画が出来たことについて

最初話をもらったときは、そのような話はなかったけれど、そのようなことになって大変うれしい。71年でも72年でもいいから、知ってもらわなければならないので知ってもらいたい。

（感喜堂にて）

## 映画『杉原千畝』のこと

平成27年度後期生徒会長 武田 侑己

今回、映画『杉原千畝』の主役を演じられた唐沢寿明さんとお会いする機会をいただけて本当に光栄に思いました。そのイベントでは唐沢さんとチェリン監督と杉原千畝さんの出身地である八百津町長さんが来られました。そこで映画を記念したプレートが寄贈され、八百津町名物のせんべいをいただきました。実際に唐沢さんと会うということでも緊張しました。しかしそんな緊張でガタガタの僕にも話しかけてくださって、とてもかっよく、いい人だなと思いました。このことは僕の一生の宝物です。

また、瑞陵の後期文化的行事でその映画を全生徒で鑑賞しました。僕はその映画を通して文字だけでは知り得なかった杉原さんの新たな面を見ることができました。それは今作で強調されていた北満州鉄道買収における杉原さんの諜報手腕の素晴らしさなどです。ソ連入国を拒否されリトアニアに赴任することになった理由が、この件でソ連が一敗地にまみれたからだったとは…。当時の大国ソ連に一目置かれるなんて本当に凄いことです。

杉原さんの話になると今までは「命のビザ」とか「当時の外務省の制止を押し切って貫いた」というように、ユダヤの方々との絆を表わすものがほとんどだったので大変興味深く鑑賞できました。私にとって一番の意義は「ユダヤ人の逃避行の大変さを感じたこと」だと思います。彼らはビザをもらっただけでは無事に目的地に行くことはできません。「協力者」と呼ばれる非ユダヤ系の勇気ある人々の行動が必要でした。シベリア鉄道で逃げる、日本海を船で渡ることなどひとつ間違えば奈落に落ちてしまうようなことを乗り越えた大変さ、それは決して文章で表現しきれるものではなく映像を通して初めて実感できたように思います。僕たちは再び戦争を起こしてはいけないこと、ユダヤ人にナチス＝ドイツが行った非道な行為を忘れてはいけないことを改めて感じました。

最後に、生徒会予算だけではできなかった映画鑑賞会が、同窓会の援助で実現できたことに感謝しています。

**杉原千畝出身校にプレート**

映画公開記念 瑞陵高に寄贈



第2次世界大戦中にリトアニア領事代理として、ナチス・ドイツの迫害を逃れたユダヤ人に「命のビザ」を発給した杉原千畝氏の出身地、岐阜県八百津町が1日、杉原氏の出身校である名古屋瑞陵地区の瑞陵高校にプレートを寄贈した。

映画『杉原千畝』スズハラチウネが5日に公開されるのを記念し、主演の唐沢寿明さんから同校生徒会長武田侑己さん、八百津町長武田俊己さんらにプレートを手渡された。

杉原氏は同校が旧制・愛知県立第五中学校だった時に学んだ。八百津町にある「命のビザ」が9月にユネスコの世界記憶遺産の国内候補に選ばれたことや、映画公開を受け、さらに杉原氏を知ってもらおうとプレートの寄贈が実現した。

プレートは透明で、A4サイズの金色の下地に杉原氏の写真と説明がある。

武田さんは「杉原さんの功績の重みを感じ、感動しています」。八百津町の赤塚新町長は「生徒の地から高校にプレートを渡せて光栄。ここで学んだことが命のビザ発給につながったと話した。」

（小林幸也）



八百津町から贈られたプレート

◀朝日新聞 2015年12月1日掲載許可済

## 心に刻んだ杉原千畝

3年6組 時枝奈々子

今回の文化的行事で見た「杉原千畝」の映画は人によって様々な解釈が出来る映画だ、と私は思った。タイトルこそ「杉原千畝」だが別に彼の一生を描いているわけではない。主要なスポットこそ彼に当てられているが、「杉原千畝」が主人公ではない。小学校のところに読んだ伝記には彼の一生が書かれていた。だから純粋に「この人偉いなあ、すごいなあ」と思えた。伝記では「杉原千畝」のことしか書かれていなかったからだ。しかしこの映画では彼のほかに様々な人物が登場する。配属された領事館の現地で雇ったスタッフ、ユダヤ人の友人家族、他の国の外交官たち…。彼らはいわゆるサブキャラクターであり、千畝と関わることによって運命が変わった人物たちだ。

私は、この映画はサブキャラクターの個々のストーリーに『出演』している杉原千畝の場面を切り取った総集編だ、と思った。領事館スタッフは最初、ユダヤ人にビザを発行することにあまり協力的ではなかった。しかし終盤の場面で彼はユダヤ人の女性に対して優しい言葉をかけてビザを手渡す。最後に千畝は自分のサインの代わりとなる判子を彼に託して車上の人となった。この時に私は裏にある「スタッフである彼のストーリー」を感じた。千畝は主人公ではなく、彼らに変化を与える「キーパーソン」として描かれている。スタッフの心境の変化の中心には千畝がいる。だからこそ、千畝のことを「教科書に載っている偉い人」という表面的な認識から「心の底から凄いと考える人」に変わるのだ。きっと伝記を読んだだけでは感じる事の出来なかった感情だろう。伝記では、他の人物のことはあまり描写されない。他の人物の変化から千畝の凄さが分かるのだ。

多くの人にこの映画を見てもらい、「杉原千畝」を「心」の教科書に刻まれた人物にして欲しい。

## オペラ「人道の桜」

西郷 孝(瑞27回)

映画「杉原千畝」は宣伝の効果もあって広く知られたが、昨年はオペラ「人道の桜」が上演された年でもあった。

杉原千畝を題材にしたオペラは、すでに2006年2月24日に初演された、「愛の白夜」(3幕5場)があった。神奈川県民ホールの開館30周年記念委嘱作品で、作曲が一柳 慧、台本が辻井 喬で、初演は外山雄三の指揮、白井 晃の演出、北村明子の振付、主演も井原秀人・天羽明恵、合唱が東京オペラシンガーズ、管弦楽が神奈川フィルハーモニー管弦楽団という豪華な顔ぶれによる本格的なものでもあった。このときは残念ながら都合がつかず初演を観に行くことはできなかった。(2009年5月に「改訂決定版」として再演されたようだ)

杉原千畝研究会の主催、早稲田大学の協力を得て、「杉原千畝物語 オペラ『人道の桜』」が上演されるという案内が、研究会会員誌「せんぼ」に同封されてきた。総指揮・作曲：安藤由布樹、脚本・演出：新南田ゆり、監修：渡辺勝正(大正出版社長)というもので、2015年5月12日にはリトアニアの首都ビリニュスの国立ドラマ劇場で初演されたという。早稲田大学の大使講堂で2015年7月26日(日)16時開演で行われるという。先着1,000で入場無料とのこと。早速、以前に杉原千畝氏の番組を作った日テレ系の

ディレクターの金澤知子さん(瑞43回)と埼玉県警科捜研の佐伯好美さん(瑞51回)に連絡をして行くことにした。「先着順」とはどういうことだと思っていると、当日14時から「整理券」を配布することになったという知らせがあった。それでも、猛暑の中を大使講堂前で並ぶのかと思うと気が重くなった。その後、早稲田大学の実行委員会によって寄付した人向けに指定席が設定されたので、炎天下の行列に並ぶことは回避できた。大使講堂は音楽堂ではないので、舞台も狭く、ピアノ伴奏版による短縮版での上演であった。オーケストラによる完全版は12月5日に品川のホールで上映する予定だという。

行ってみたら大使講堂は満席で、作曲の安藤由布樹氏が舞台奥でピアノ伴奏し、歌手である新南田ゆり氏が幸子さん役で熱演された。杉原千畝氏にちなんでビリニュスに植樹された桜並木の話から物語が始まる。その様子は、YouTubeにアップされているので一部を見ることもできる。「史実に忠実」でリアルな映画「杉原千畝」とは違って、「人道」をテーマにした手作り感のあるほのほのとした「庶民オペラ」といった感じであった。「愛の白夜」は観ていないので比較はできないが、グランドオペラ的な一柳作品と比較するのは無意味なことだと思う。主催者である杉原千畝研究会の大正出版の渡辺勝正社長はもちろんであるが、千畝氏の長男の奥様である美智さん、お孫さんのまどかさんなども来場されていた。



左から、杉原美智さん、佐伯、西郷、金澤、杉原まどかさん  
(早稲田大学大使講堂前で)

12月5日の「オーケストラ・完全版」も佐伯さんと一緒に品川きゅりあんに観に行った。この日は映画「杉原千畝」の封切日でもあった。「オーケストラ」といっても、室内楽的小編成で舞台奥で演奏された。「完全版」なので、大使講堂の時には割愛されたシーンもいくつかあった。何より、「講堂」でなくホールなので音響も良く十分に楽しめた。

今年7月にはウズベキスタン公演が行われ、来年3月には新宿文化センターでの公演予定があるという。ピアノ伴奏からオーケストラまで編成はいかようにもなるし、公演時間もアレンジできるということで、瑞陵高校で瑞陵生に観てもらおう機会をつくと良いと思う。映画も良いが、生演奏は格別である。



平成28年度瑞陵会親睦ゴルフコンペの報告

瑞陵会親睦委員会ゴルフ幹事 木村 鍾 治 (瑞18回)

時下 皆様におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

瑞陵会ゴルフ幹事の木村です。昨年秋から今年春までに行われた親睦会ゴルフコンペの結果等についてご報告申し上げます。

平成27年10月7日、第23回コンペをさなげG・Cにて、また本年5月25日、東名古屋C・C（東コース）にて第24回コンペを実施致しました。参加者は23回コンペが24名（男性22、女性2）、24回コンペが15名（男性12、女性3）という状況でした。また、参加されている卒業期は5回生から20回生となっています。

私がゴルフ幹事をさせて頂いてから、既に今年で9年目となりました。昨年春、幹事の都合により一度中止を致しましたが、全部で16回のコンペを実施してまいりました。この報告書も今年で8回目となります。

会員数は2年前がピークで約60名程在籍しておりましたが、現在は50名弱となっています。参加する卒業期にも偏りが生じており、幹事の同期生である18回生が主体となっております。この状態では同窓会の親睦コンペではなく18回生の同期生コンペのような形になっています。その上18回生以外の参加者も固定化されており、新しい方の参加、特に若い卒業生の参加が見込まれないのは幹事の不徳のなせるところと反省しております。折角の同窓会ですので、幅広い卒業期の方に参加して頂き、先輩と後輩間のコミュニケーションも図って頂ければと念じていますが・・・。

瑞陵会の親睦コンペは前本部役員が交代した後、現本部役員の参加は殆ど無く、前役員であった13回生の齊藤顧問を中心に何とか動いているのが現状です。このような状況が続くようであれば今年度をもって一旦瑞陵会の親睦コンペを打ち切ろうと考えております。現在の本部には優勝トロフィーを準備して頂いたにもかかわらずこのような結果になりましたことご容赦ください。なお、本部役員の方で本親睦コンペを引き継いで頂ける方が居られる様であれば申し送りたいと思っています。

瑞陵会は来年110周年を迎えます。本部のほうでは110周年に因んで記念ゴルフコンペを計画しております。来年5

月を目途に佐合副会長の方で計画が進められています。私も今までの行掛り上、本部のほうに協力して行きたいと考えております。この記事を見て興味のある方は、本部或いは私の方にご連絡頂ければ幸いです。さらに関心のある方は本年10月初旬に計画している第25回コンペへの参加を期待しております。

最後に

「人間の機知が発明した遊戯で、ゴルフほど健康な保養と、壮快な興奮と、尽きることのない楽しさの源泉を与えるものはない。」

アーサー・バルフォア

第23回、24回コンペ結果（抜粋）

※試合は新ベリア（ダブルベリア）方式で実施、結果は次の通りです（敬称略）

23回コンペ (H27・10・7)			24回コンペ (H28・5・25)		
	氏名	卒業期		氏名	卒業期
優 勝	滝山 昭	16回	優 勝	土屋 頼信	16回
準優勝	加藤 裕	18回	準優勝	滝山 昭	18回
3 位	土屋 頼信	18回	3 位	木村 鍾治	18回
5 位	石村 一郎	20回	5 位	恵良恵美子	7回
7 位	木全 良和	18回	7 位	内藤 正	18回
10 位	坂東 信吾	13回	10 位	加藤 裕	18回

第25回コンペは10月初旬を考えています。場所：未定



第24回瑞陵会親睦ゴルフコンペ参加者（写真）

幹事連絡先：携帯 090-4850-1392 FAX 052-205-6321

e-mail kimurashouji0601@yahoo.co.jp

瑞陵会 役員の変更

・副会長に寺田志郎氏（瑞20回）

副会長として瑞陵会の活動に貢献されました江副嘉彦氏（瑞16）が平成27年11月に逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。それにともない、寺田志郎氏（瑞20回）（元愛知県教育委員会学習教育部長 元明和高校校長 現星城高校校長）が、総会・親睦委員会担当の副会長に就任されました。（一財）瑞陵高校瑞陵会基金の監事も兼任します。

・学校の定期人事異動にともなうもの 総 務：兵藤 直人（全日制教頭） 会計管理：田中 義仁（事務長）

・常任幹事追加 三品 耕作氏（瑞47）

平成27年度ポプラシート報告（ポプラシート事業は平成28年度で終了いたします。）

第1回 10月17日（土）

日本特殊陶業市民会館 43名参加

第2回 12月20日（日）

京都・南座 30名参加

# 瑞 陵 会 報

## 平成27年度 瑞陵会会計決算書

収入済額 7,041,243円 支出済額 5,198,186円  
 残額 1,843,057円  
 収入の部 (単位：円)

項目	予算額	収入済額	残 額	摘 要
繰越金	2,976,229	2,976,229	0	前年度から繰越
繰入金	2,059,500	1,889,804	△169,696	賛助会費会計から繰入
入会金	1,170,000	1,131,000	△39,000	3,000円×377名
参加費	1,500,000	705,000	△795,000	総会参加費
広告収入	400,000	316,340	△83,660	名刺広告収入等
雑収入	271	22,870	22,599	名簿販売、預金利息等
合 計	8,106,000	7,041,243	△1,064,757	

### 支出の部

項目	予算額	支出済額	残 額	摘 要
事務費	1,800,000	512,595	1,287,405	
報償費	550,000	348,440	201,560	表彰、供花、講演等
報酬費	600,000	10,000	590,000	非常勤職員の報酬
通信費	400,000	55,107	344,893	郵便切手等
需用費	250,000	99,048	150,952	電気料・消耗品費等、中古PC
会議費	250,000	54,933	195,067	
役員会	150,000	12,000	138,000	会議経費等
委員会	50,000	41,696	8,304	会議経費等
需用費	50,000	1,237	48,763	消耗品等
事業費	5,400,000	4,630,658	769,342	
交流会会場費	2,200,000	1,775,675	424,325	懇親費等
会報費	1,500,000	635,237	864,763	会報等印刷・送付費
ポプラシート	500,000	0	500,000	百周年誌、基金から支給
学校支援事業	1,000,000	2,119,206	△1,119,206	エフコ、印刷費、送料経路等
支部支援事業	200,000	100,540	99,460	関東瑞陵会支援
予備費	656,000	0	656,000	
合 計	8,106,000	5,198,186	2,907,814	

## 平成27年度 瑞陵会積立金会計決算書

収入済額 2,531,518円 支出済額 329,307円  
 残額 2,202,211円  
 収入の部 (単位：円)

項目	予算額	収入済額	増減額	摘 要
繰越金	2,530,983	2,530,983	0	前年度から繰越
雑収入	523	535	12	預金利息等
合 計	2,531,506	2,531,518	12	

### 支出の部

項目	予算額	支出済額	残 額	摘 要
繰出金	0	329,307	2,202,211	27年度ポプラシート

## 平成27年度 瑞陵会賛助会費会計決算書

収入済額 2,978,522円 支出済額 1,167,500円  
 残額 1,811,022円  
 収入の部 (単位：円)

項目	予算額	収入済額	増減額	摘 要
繰越金	2,438,408	2,438,408	0	
賛助会費	5,000,000	540,114	△4,459,886	78名
雑収入	1,000	0	△1,000	
合 計	7,439,408	2,978,522	△4,460,886	

### 支出の部

項目	予算額	支出済額	差 額	摘 要
繰出金	2,059,500	1,167,500	△892,000	瑞陵会会計へ繰出

平成27年度 瑞陵会ポプラシート事業  
 御園座・南座観劇 (10月・11月)  
 支出済額 498,904円 (残額 169,582 + 15 + 積立金 329,307円)

(一財) 瑞陵高校瑞陵会基金 (詳細は会報16頁参照)  
 収入 約2,600万円 支出 約1,300万円 現在額 1,284万円

## 平成28年度 瑞陵会会計予算書

収入予算額 6,835,000円 支出予算額 6,835,000円  
 差引額 0円  
 収入の部 (単位：円)

項目	予算額	前年度予算額	増減額	摘 要
繰越金	1,843,057	2,976,229	△1,133,172	前年度から繰越
繰入金	2,450,956	2,059,500	391,456	懇親会、幹事はアコから繰入
入会金	1,140,000	1,170,000	△30,000	3,000円×380名
参加費	1,000,000	1,500,000	△500,000	総会参加者(200名)
広告収入	400,000	400,000	0	名刺広告収入等
雑収入	987	271	716	預金利息等
合 計	6,835,000	8,106,000	△1,271,000	

### 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	増減額	摘 要
事務費	750,000	1,800,000	△1,050,000	
報償費	400,000	550,000	△150,000	表彰等
報酬費	100,000	600,000	△500,000	非常勤職員の報酬
通信費	100,000	400,000	△300,000	郵便切手等
需用費	150,000	250,000	△100,000	電気料・消耗品費等
会議費	150,000	250,000	△100,000	
役員会	50,000	150,000	△100,000	会議経費等
委員会	50,000	50,000	0	会議経費等
需用費	50,000	50,000	0	消耗品等
事業費	5,783,456	5,400,000	383,456	
交流会費	2,000,000	2,200,000	△200,000	総会・講演会・懇親会費等
会報費	1,000,000	1,500,000	△500,000	会報印刷送付費・経費等
エフコリース代	1,083,456	0	1,083,456	基金から(90,288×12)
ポプラシート	500,000	500,000	0	平成28年まで
学校支援事業	1,000,000	1,000,000	0	生徒向け学習環境整備
支部支援事業	200,000	200,000	0	関東瑞陵会支援
予備費	151,544	656,000	△504,456	
合 計	6,835,000	8,106,000	△1,271,000	

## 平成28年度 瑞陵会積立金会計予算書

収入予算額 2,202,600円 支出予算額 0円  
 差引額 2,202,600円  
 収入の部 (単位：円)

項目	予算額	前年度予算額	増減額	摘 要
繰越金	2,202,211	2,530,983	△328,772	前年度から繰越
雑収入	389	523	△134	預金利息等
合 計	2,202,600	2,531,506	△328,906	

### 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	増減額	摘 要
繰出金	0	0	0	

## 平成28年度 瑞陵会賛助会費会計予算書

収入予算額 2,812,000円 支出予算額 1,367,500円  
 差引額 1,444,500円  
 収入の部 (単位：円)

項目	予算額	前年度予算額	増減額	摘 要
繰越金	1,811,022	2,438,408	△627,386	前年度から繰越
賛助会費	1,000,000	5,000,000	△4,000,000	目標200名
雑収入	978	1,000	△22	利子等
合 計	2,812,000	7,439,408	△4,627,408	

### 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	増減額	摘 要
繰出金	1,367,500	2,059,500	△692,000	

平成28年度 瑞陵会ポプラシート事業  
 御園座観劇 (年2回) 同窓会本会計から繰入 500,000円  
 (準備金残額 0円)

**瑞陵高校の近況**

**瑞陵進路セミナー（平成27年度）**

1 進路セミナー

- ① 6月16日(火) 「国際協力と地域研究」  
…日本とは違う世界を知る面白さ  
安藤 和雄先生 (25回生)  
京都大学 東南アジア研究所 准教授
- ② 7月3日(金) 『炭素文明論「元素の王者」が歴史を動かす』 佐藤健太郎先生 サイエンスライター

2 キャリアガイダンス講師（卒業生のみ記載）

(1年生対象 7月6日)

- 医療関係 小早川雄介氏 (46回 大同病院 医師)
- 法律関係 安井 一大氏 (56回 鶴舞総合法律事務所弁護士)
- 金融関係 森 信竹氏 (29回 株式会社 名古屋銀行)
- 建築関係 宮崎 雅博氏 (20回 株式会社 杉本組)
- 公務員教育関係 森 重統氏 (20回 瑞陵非常勤講師)

**濱島誠一郎奨学事業報告（平成27年度）**

1 バス旅行による研修

- ・京都・式年遷宮のお社をたずねて（上賀茂・下賀茂神社、7月 52名）  
幻のサメ「メガマウス」に会いに行こう！（東海大学海洋科学博物館 12月 36名）
- ・京都・南座での歌舞伎鑑賞（12月、30名、見学費用はポプラシートから支払）  
歩いて味わう熊野古道2016（2月、45名）
- ・人道の港・敦賀ムゼウムと彦根城を訪ねる（1月、27名）
- ・一日京大生体験ツアー（大文字山で安藤先生とフィールドワーク、3月、37名）

2 博物館・美術館での研修

- ・徳川美術館80周年・国宝「源氏物語絵巻」を見よう！（12月 15名）
- ・「名古屋めしのもと」を見学に行こう！（名古屋市博物館 1月 19名）
- ・「魅惑の都市・ヴェネツィア～500年の旅」(名古屋ポストン美術館 2月 10名)

3 研修会・講習会への援助

- クラゲの生体・発光についての研究補助 1名
- 知の探求講座参加補助 2名

**部活動の活躍（平成27年7月～28年7月まで）**

平成27年度

- 全国高校総合体育大会  
陸上競技部 女子走高跳 7位 榊原至佳子  
男子100m、800m、三段跳、4×400mR出場
- 全国高校総合文化祭 書道部門：特別賞 山本彩花  
図書部門：水野善人

36回名古屋市立高校体育大会

- (男子総合4位、女子総合2位)  
陸上：男子・女子総合優勝、駅伝大会男子6位、女子2位、水泳：男子・女子総合2位、剣道：男子優勝、硬式野球：3位、バレーボール：女子優勝、卓球：女子3位、テニス：女子3位、弓道：団体女子3位、個人女子2位、個人男子優勝

愛知県高等学校新人体育大会

- 陸上：女子走高跳2位、女子5000mW 6位、女子400mH 6位、バレーボール：女子ベスト4

東海高等学校新人体育大会

- 陸上：女子走高跳2位、バレーボール：女子出場

JOCジュニアオリンピックカップ・第9回全日本ユース陸上競技選手権大会

- 女子走高跳 5位 榊原至佳子

バスケットボール第2回3×3日本選手権予選愛知県大会

- U-18の部2位
- 日本生物学オリンピック2015予選  
生物部優秀賞・優良賞
- 牛乳製品利用料理コンクール 優良賞
- 第36回全国ホームプロジェクトコンクール 努力賞

平成28年度

2016日本ジュニア室内陸上競技大阪大会

- 女子ジュニア走高跳優勝 榊原至佳子
- 愛知県高等学校総合体育大会  
陸上：女子走高跳優勝（大会新）榊原至佳子  
男子円盤投4位、女子三段跳6位  
バドミントン：女子W出場、弓道：個人男子・女子出場
- 東海高等学校総合体育大会 陸上：女子走高跳2位

平成28年度 全国大会 次の部が出場します。  
全国高等学校総合体育大会（7/28～岡山市）  
陸上競技女子走高跳 榊原至佳子  
全国高等学校総合文化祭（7/28～尾道市）  
囲碁専門部大会 水野善斗

- 杉原ウィーク2016短歌大会（八百津町主催）  
学校賞、愛賞、佳作1名

**大学入試状況（過去3カ年）**

	28年度入試	27年度入試	26年度入試		28年度入試	27年度入試	26年度入試		28年度入試	27年度入試	26年度入試
北海道大	5	1	4	三重大	15	12	5	日本大	1	3	6
東北大	0	1	1	京都市大	1	2	1	愛知大	60	40	26
筑波大	1	2	1	大阪大	2	2	2	愛知医科大	7	7	7
千葉大	0	2	1	奈良女子大	1	0	0	愛知学院大	22	15	23
東京大	0	0	1	神戸大	2	3	3	愛知淑徳大	30	40	43
東京工業大	0	1	0	広島大	0	2	3	金城学院大	26	15	20
東京外国語大	0	0	1	愛知県立大	17	11	8	相山女学園大	24	39	24
東京海洋大	1	0	1	名古屋市立大	14	10	8	中京大	77	62	101
東京芸術大	0	1	2	国公立大学計	168	148	143	豊田工業大	4	2	2
一橋大学	0	1	0					南山大	127	109	187
横浜国大	1	4	2	青山学院大	3	3	4	名古屋外大	40	12	22
富山大	2	3	1	慶応義塾大	4	5	0	名城大	145	120	70
金沢大	2	2	1	早稲田大	15	4	5	藤田保健衛生大	28	15	7
信州大	5	4	4	上智大	2	1	5	京都女子大	1	4	4
静岡大	6	10	5	明治大	22	25	23	立命館大	98	92	78
愛知教育大	10	13	14	法政大	22	12	7	同志社大	45	35	45
名古屋大	14	13	19	立教大	2	4	8	関西大	18	9	9
名古屋工業大	19	15	22	中央大	14	11	20	関西学院大	5	6	11
岐阜大	13	10	14	東京理科大	11	16	16	私立大学計	1031	879	902



## 陸上女子走高り跳び 神原至佳子さんについて

今年5月、瑞穂公園陸上競技場で行われた、愛知県総合体育大会女子走高跳で本校3年神原至佳子さんが1m80をクリア。今井美希さん(46回、シドニーオリンピック代表)の持つ大会記録を2cm上回るとともに、2000年代では4人目の1m80台ジャンパーとなった。

陸上競技部顧問の寺島貴先生(32回)によると「1m83(U20世界選手権参加標準記録)も背中までは確実に抜けており、越えられる可能性は十分ある」とのこと。今後の活躍が期待出来る。



### 賛助会費募集

瑞陵会はネットワーク作りと財政再建が最大の課題です。卒業生の入会金だけでは事業の経費がまかなえず、財政の健全化は焦眉の急となっております。

そこで、財政健全化のために平成24年から賛助会費を募ることにしました。5年分の年会費と考え賛助会費にご協力下さい。5年間会報を送らせていただきます。会報は瑞陵会ホームページでもご覧いただけますが、あなたの愛校心が瑞陵会の支えです。振り込み用紙の請求は瑞陵高校内瑞陵会事務局までどうぞ。(用紙がなければ、振込み手数料本会払いでも構いません)

賛助会費一口 5,000円(一口以上でお願いします) 郵便振替(口座番号00880-7-190740) 払込先 瑞陵会  
会報発送と名簿整理の都合上 〒・住所、氏名、回生(卒業年度)をご記入下さい。

### 賛助会員名簿 平成27年8月～平成28年7月

五27 中西 幸彦	9 丸尾 猛	13 中澤 明	19 井上 文男	24 佐々木 史光	37 富原 令子
五33 水野 東一	9 小堀 政和	14 山田 経信	19 水野 守正	25 山本 聡	37 伊藤 晴美
五40 荒山 修	9 福島 左千男	15 樋口 順一	20 足立 賢治	25 川本 伸也	38 伊藤 正幸
五41 伊藤 賢造	9 藤田 芳伯	16 今枝 政春	20 伊藤 正伸	26 山本 雅之	40 日高 充夫
瑞3 新美 二郎	10 細井 繁久	17 中村 利雄	20 錦 慎二郎	28 矢代 英彦	41 永田 善夫
3 稲蔭 雅子	11 池田 宣興	17 津坂 康和	21 水野 文治	28 鈴木 喜雄	42 淡中 泰雄
5 日高 重尚	11 高田 由紀子	17 長江 実	21 吉田 雅美	28 伊藤 泰之	42 水野 貴志
5 福井 幹彦	12 山口 昇	17 青木 偉晃	21 木村 恵子	30 青山 究	43 伊勢田 明代
6 高橋 佳代子	12 服部 正典	18 山田 則子	22 中村 美代子	32 丹羽 基紀	44 近藤 健一郎
6 井置 啓介	12 片桐 文雄	18 近藤 豊司	22 前田 依久子	32 平井 雅之	60 青木 裕典
7 丹羽 宏	12 三宅 養三	18 神沢 泰弘	22 牛尾 正司	33 小森 敦夫	64 宮嶋 優里
8 佐藤 輝久	13 酒井 秀房	18 伊藤 甫	23 石川 恵子	33 神谷 豊行	定6 中井 潔
9 伊藤 洋子	13 種田 暉巳	19 佐渡山 住子	24 加藤 裕司	33 植田 祥江	定10 小島 二三夫
9 吉村 美重子	13 都竹 俊之助	19 市川 隆子	24 伊藤 あつ子	34 中村 美貴子	

### 110周年記念事業について

会長の巻頭言にもありました110周年行事につきまして、瑞陵会で計画していることを簡潔にご紹介します。

- (1) 同窓会名簿の作成 (済)
- (2) 感喜堂整備
  - ①感喜堂に移動式間仕切りを設置し全日制生徒の学習室を造る。(済)
  - ②感喜堂に空調設備をつける。(据付済、今後13年リース代金の支払が必要)
  - ③感喜堂に諸先輩の顕彰パネルをつける。(済)(江戸川乱歩・杉原千畝)
- (3) 110周年記念行事
  - ①記念式典 平成29年10月21日(土)  
瑞光館 午後1時から
    - ・式典
    - ・水澤心吾一人芝居『杉原千畝物語』鑑賞
    - ・吹奏楽部の演奏と校歌・応援歌斉唱
  - ②記念事業
    - ・書籍『杉原千畝と命のビザ』を生徒に寄贈
    - ・記念ゴルフ大会
    - ・感喜堂行事の新設  
秋期に感喜堂での行事を行い恒例化する
  - ③記念パーティー(平成29年度総会を兼ねる)  
10月21日(土)記念式典後  
名古屋メルパルク 午後5時半を予定  
参加費 例年通り5,000円の予定

### 一般財団法人 瑞陵高校瑞陵会基金について

収入	約2,600万円
平成26年2月、会長名で40歳以上の会員に案内	
支出	約1,300万円
感喜堂移動式間仕切り関係	940万円
エアコンリース代金(平成27年度分)	78万円
感喜堂パネル・五中アルバム複製	55万円
募金依頼文書発送費用	200万円
残金	1,284万円
今後必要な金額	約2,500万円
内訳 エアコンリース代金(12年契約)	1,336万円
感喜堂放送設備等	100万円
110周年記念式典	100万円
諸先輩顕彰事業(書籍寄贈・パネル)	400万円
募金募集経費	350万円
その他	200万円

110周年記念事業実現のためには総額約2500万円以上のご寄付を募らねばなりません。同窓会会員の皆様のさらなるご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

郵便振替 口座番号 00880-4-183489

払込先 一般財団法人 瑞陵高校瑞陵会基金

※瑞陵会活動維持のための賛助会費とは異なります。ご注意ください。

# 瑞 陵 会 報

一般財団法人瑞陵高校瑞陵会基金 寄付者 (敬称略)(平成27年8月～平成28年7月) ご協力ありがとうございます。

五27	中西	幸彦	7	牧	和子	12	安部	彰	16	鳥元	美智代	19	井上	文男	24	江本	松男	33	安藤	嘉章
五32	奥村	勇	7	伊神	治朗	12	橋部	初枝	16	森下	民代	19	石川	久夫	24	田口	良生	33	小森	敦夫
五32	尾崎	良康	7	丹羽	宏	12	山口	昇	16	大平	恵則	19	水野	守正	24	若竹	浩次	33	松尾	智子
五33	水野	東一	7	廣瀬	英夫	12	森	好広	16	今枝	政春	19	木下	道子	24	奥田	哲司	33	神谷	豊行
五33	安藤	照夫	7	小島	美津江	12	片桐	文雄	17	加藤	悠子	20	足立	賢治	24	伊藤	あつ子	33	植田	祥江
五34	生駒	定治	7	松浦	伸子	12	立間	隆人	17	西村	智之	20	加藤	良樹	24	永治	典久	34	筏津	奈都子
五35	杉野	忠夫	7	水野	公計	13	種田	暉巳	17	河津	知子	20	杉田	陽子	24	本田	清美	34	中村	美貴子
五36	浅井	昭	7	太田	力	13	三輪	昌勝	17	西岡	充雄	20	栗田	眞砂	24	高橋	成夫	34	小室	悦子
五36	鬼頭	暉雄	7	後藤	鏡一	13	板東	信吾	17	金子	正夫	20	祖父江	哲夫	24	小池	信一	35	久田	浩三
五37	吉田	恭信	7	柳澤	明美	13	宮沢	紀洋三	17	安井	一彦	20	田沼	良平	24	佐々木	史光	35	伊藤	稔
五38	木全	俊彦	7	南谷	恭子	13	都竹	俊之助	17	小島	敏男	20	高橋	完治	24	小島	幸子	35	三好	直子
五38	大橋	敏弘	7	糸	輝明	13	酒井	秀房	17	金屋	憲二郎	20	野田	二知正	25	各務	昭彦	35	山田	有香
五38	加藤	剛	7	鈴木	恵三	13	夏目	雅史	17	伊藤	和隆	20	佐喜眞	望	25	北條	猷示	35	廣田	孝明
五39	馬島	鋪年	7	丹羽	宏	13	斎藤	要一	17	由井	克宗	20	大谷	忠久	25	朝倉	隆司	35	河津	直美
五39	小野	茂勝	7	吉田	昭	13	種田	暉巳	17	高岡	弘之	20	尾関	正吉	25	吉川	明美	36	屋田	峰長
五40	荒山	修	7	山本	禮子	13	石原	洋一	17	三村	信之	20	小田	博一	25	町野	直人	36	柳沢	美奈子
五41	成田	忠夫	8	佐藤	輝久	13	広瀬	敏重	17	天野	清美	20	金丸	洋子	25	太田	雅久	38	本間	喜一
五41	伊藤	賢造	8	花井	秀雄	13	広江	達雄	17	加藤	正躬	20	高橋	光枝	25	松本	有史	38	伊藤	正幸
五41	吉木	信夫	8	大室	伸一	13	加藤	幸充	17	長江	実	20	佐藤	百合子	25	川本	伸也	38	菟原	いずみ
実2	後藤	操	8	井崎	倫子	13	大矢	詠子	17	松原	俊雄	20	荒木	春夫	25	加藤	秀雄	39	小澤	恵美子
実3	和木	志ず子	8	岡村	松司	13	瀧	緯彦	17	田中	雅彦	20	菱田	高光	25	岩井	由美子	39	伊藤	正人
実4	後藤	榮子	8	高木	義文	14	富田	弘子	17	松井	幸枝	20	斉藤	純司	26	中村	公子	39	加藤	厚
熱3	稲葉	重成	8	山本	禮子	14	上野	賢二	17	安藤	淳子	20	杉本	比佐子	26	平田	智子	39	五十子	洋子
熱3	竹川	輝夫	9	小松原	芳子	14	中川	恒子	17	川端	順子	20	伊藤	正伸	26	柴田	和顯	39	平田	桂子
瑞1	酒井	好増	9	市原	立幸	14	風岡	満治	17	岸本	和子	20	竹居	正実	26	加古	孝	40	鈴木	博
1	藤井	屹	9	八木	ふさ子	14	小島	淳之	18	深津	富美子	20	則竹	祥一	26	吉田	秀代	40	水野	元貴
2	岩田	康子	9	三輪	康男	14	鈴木	惇嘉	18	石内	典子	20	錦	慎二郎	26	浅野	毅彦	40	日高	充夫
3	古関	和久	9	寺島	光子	14	山田	隆國	18	木村	博一	21	飯塚	美代子	26	吉本	三広	40	市成	共司
3	丹羽	滋郎	9	井上	晶子	14	山内	一信	18	土屋	文代	21	柴田	達男	27	深谷	剛千	41	永田	善夫
3	鈴木	啓子	9	小堀	政和	14	鈴木	陽子	18	篠田	喜代子	21	秋田	真希子	27	安井	真由美	41	彦坂	佳子
3	伊藤	英治	9	河口	悦子	14	見松	健太郎	18	大嶋	悦嗣	21	堀岡	一幸	27	早瀬	弘親	41	松井	弘子
3	新美	二郎	9	奥田	英子	14	見松	章子	18	今西	有規子	21	村田	薫	27	服部	直子	41	渡辺	けい子
3	松下	正美	9	岩田	敬彰	14	山田	経信	18	渡辺	淑子	21	有馬	克壽	27	服部	直子	41	岩瀬	賀世子
3	稲葉	雅子	9	和田	弘一	15	浅野	秀子	18	篠田	喜代子	21	森	晁実	28	中村	美由喜	41	永田	善夫
3	鶴田	カズ子	9	藤田	芳伯	15	永田	礼子	18	松葉	富子	21	水野	文治	28	田中	健二	42	淡中	泰雄
3	伊藤	満子	9	福井	千代子	15	内藤	政昭	18	山田	則子	21	澤田	耕一	28	荒川	高治	42	近藤	茂弘
4	浅野	重子	9	大原	隆夫	15	海川	孝幸	18	岡野	均	22	丸尾	秀	28	矢代	英彦	43	伊勢田	明代
4	井上	能子	9	吉村	美重子	15	伊藤	義鑑	18	渡辺	淑子	22	山本	忠明	29	久野	君江	43	岩崎	祐子
4	鈴木	恵子	9	丸尾	猛	15	岡本	基嗣	18	永田	雅子	22	佐久間	俊充	29	浅井	輝良	43	本山	彩子
4	田中	道彦	9	小堀	政和	15	遠藤	夏子	18	近藤	豊司	22	近藤	平一	29	太田	哲三	43	村上	陽平
4	太田	宏	9	藤田	芳伯	15	鈴木	容子	18	岡田	正憲	22	神谷	彰彦	29	玉本	和久	43	伊勢田	明代
4	中西	峰子	10	野村	靖子	15	坂元	文子	18	田中	美智子	22	林下	幸造	29	石川	秀男	44	奥山	千春
4	三國	喜四郎	10	細井	繁久	15	宗宮	美恵子	18	村上	泰助	22	福田	淑子	29	小川	ゆかり	44	酒井	啓充
5	佐藤	太一	10	成田	重忠	15	樋口	順一	18	伊藤	甫	22	高橋	ひな子	29	近藤	昌嗣	44	永田	夏子
5	高木	修	10	近藤	昌三	15	笹川	久子	19	斉田	文雄	22	岡村	和子	29	浅井	輝良	44	柴田	涼子
5	日高	重尚	10	水野	太久蔵	16	今西	千恵子	19	石黒	まり子	22	前田	依久子	30	杉藤	哲郎	44	近藤	健一郎
5	亀田	重満	10	近藤	幸達	16	今枝	政春	19	鈴木	英俊	22	牛尾	正司	30	小澤	哲也	44	小島	大輔
5	笠原	廣子	10	近藤	たるほ	16	大河内	正博	19	大河田	信夫	23	奥語	雅樹	30	藤沢	慎一	45	山田	裕久
5	櫻井	洗子	10	細井	繁久	16	遠藤	克世	19	水野	守正	23	加藤	芳樹	30	青山	究	45	青木	亮一郎
5	水野	豊吉子	11	本多	晴代	16	原田	妙子	19	井上	文男	23	桃木野	玲子	31	大塚	由枝子	45	正木	克由規
5	福井	幹彦	11	藤田	紀雄	16	山内	信幸	19	佐久間	修三	23	渡瀬	充枝	31	新美	裕子	48	小池	学
6	山本	正康	11	中嶋	斌雄	16	山田	一正	19	林	勝博	23	佐々木	賢爾	31	堀部	明圓	50	小松	正幸
6	辻本	美智代	11	本間	富久代	16	杉原	秀美	19	小林	保	23	古池	博	31	本多	利光	62	三品	秀和
6	河村	幹夫	11	久野	祐滋	16	橋本	芳樹	19	谷中	信一	23	桃木野	怜子	31	荻野	守	定8	杉浦	弘二
6	梅田	邦壽	11	山内	立郎	16	河合	治明	19	三浦	正	23	今井	昌己	32	伊藤	健司	定9	山田	稔子
6	佐橋	八重子	11	池田	宣興	16	廣田	健一	19	外山	幸男	23	奥語	雅樹	32	西村	隆	定9	磯村	重信
6	坂本	一夫	11	高田	山紀子	16	滝山	昭	19	掛斐	敏夫	23	横地	修	32	白井	宏明	旧職員	宮田	力松
6	高橋	佳代子	11	泉	貞夫	16	荒木	郷兵	19	佐渡山	住子	23	石川	恵子	32	丹羽	基紀	一般	安住	恭子
6	山崎	敏郎	11	鬼頭	靖子	16	志賀	直信	19	中村	茂	23	松永	安彦	32	平井	雅之	62	鬼頭	暉雄
6	辻本	美智代	12	深津	隆	16	粥川	信夫	19	長尾	良子	24	牛田	寛治	33	荻野	彰子			
6	井置	啓介	12	片桐	文雄	16	小山田	毅	19	小野	俊夫	24	阪野	保雄	33	太田	統之			

編集後記 //

瑞陵を卒業してまもなく50年。最近とくによく瑞陵同期の仲間に遊んでもらっている。今回プラスバンドの話を書いてもらった長谷川氏には、同じく同期の梶川氏と一緒に週一回、陶芸を教えてもらっている。その梶川氏は他の同期の仲間と毎週ゴルフに行っているそうだ。私も誘ってもらったが、ゴルフはしないので参加していない。ソーラーカーのことを書いてもらった江口氏には、忘年会の酒の席で執筆をお願いし、快く引き受けてもらった。人生最後の直線に入って、だんだん楽しくなってきた。

同窓諸姉・諸兄にはご健康と心穏やかな日々を、若い諸君には益々のご発展を祈念申し上げます。(S. H.)

瑞陵会ホームページのご案内

<http://www.bekkoame.ne.jp/i/zuiryokai/>

会報は瑞陵会のホームページにも掲載しています。  
 今まで郵送でお届けしていた同窓生で、ホームページがあれば郵送不要と思われる方は、編集委員までお知らせください。

shoji.hamajima@gmail.com

瑞陵法曹会有志一同

外堀通り法律事務所

高木 修 (瑞5回)  
 〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-2-7  
 丸の内弁護士ビル901号  
 TEL.052-201-7656 FAX.052-204-1244

中村正典法律事務所

中村 正典 (瑞21回)  
 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-6-27  
 EBSビル2階  
 TEL.052-971-7424 FAX.052-971-7425

大島真人法律事務所

大島 真人 (瑞26回)  
 〒460-0003 名古屋市中区錦2-19-1  
 名古屋鴻池ビル9階  
 TEL.052-220-2225 FAX.052-220-2228

東海法律事務所

石川 智太郎 (瑞11回)  
 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-5-35  
 弁護士ビル901・902号  
 TEL.052-961-0651 FAX.052-961-0653

金山総合法律事務所

渥美 玲子 (瑞22回)  
 〒460-0022 名古屋市中区金山1-9-17  
 金山スズキビル8階  
 TEL.052-331-9054 FAX.052-331-9060

臼井法律事務所

臼井 幹裕 (瑞33回)  
 〒460-0003 名古屋市中区錦3-1-30  
 錦マルエムビル3階  
 TEL.052-218-0566 FAX.052-221-5656

弁護士法人 柴田・中川法律特許事務所

柴田 肇 (瑞15回)  
 〒440-0814 豊橋市前田町1-2-11  
 TEL.0532-53-7087 FAX.0532-54-2106

弁護士法人 岐阜合同法律事務所

安藤 友人 (瑞22回)  
 〒500-8812 岐阜市美江寺町1-5  
 岐阜北青色会館  
 TEL.058-264-3780 FAX.058-264-3784

光が丘法律事務所

佐藤 成俊 (瑞38回)  
 〒464-0006 名古屋市中種区光が丘1-18-3  
 TEL.052-712-3350 FAX.052-712-3352

中部総合法律事務所

長谷川 忠男 (瑞15回)  
 〒461-0001 名古屋市中区東区泉2-3-20  
 長谷川ビル3階  
 TEL.052-931-9192 FAX.052-931-6062

成田龍一法律事務所

成田 龍一 (瑞23回)  
 〒460-0003 名古屋市中区錦3-14-14  
 夢現錦ビル6階  
 TEL.052-973-0531 FAX.052-973-0533

ジェイ・ユー・エヌ服部順法律事務所

服部 順 (瑞38回)  
 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-21-25  
 清風ビル5階  
 TEL.052-962-8511 FAX.052-962-8512

さくら総合法律事務所

加藤 謙一 (瑞19回)  
 〒514-0007 三重県津市大谷町21-8  
 TEL.059-227-6951 FAX.059-225-5943  
 TEL.052-931-9192 FAX.052-931-6062

弁護士法人 名古屋総合法律事務所

浅野 了一 (瑞24回)  
 〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-20-25  
 丸の内STビル6階  
 TEL.052-231-2601 FAX.052-231-2602

足立法律事務所

中島 朋子 (瑞56回)  
 〒441-8021 豊橋市白河町61番地  
 ターミナルプラザ801号  
 TEL.0532-33-4831 FAX.0532-33-4830

加藤茂法律事務所

加藤 茂 (瑞19回)  
 〒466-0064 名古屋市中区昭和区鶴舞3-8-9  
 TEL.052-732-7821 FAX.052-732-7822

後藤和男法律事務所

後藤 和男 (瑞24回)  
 〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-14-20  
 ザ・スクエア8階S8号室  
 TEL.052-202-0680 FAX.052-203-1417

鶴舞総合法律事務所

安井 一大 (瑞56回)  
 〒466-0015 名古屋市中区昭和区御器所通3-18  
 エスティプラザ御器所4階  
 TEL.052-852-1220 FAX.052-852-1227